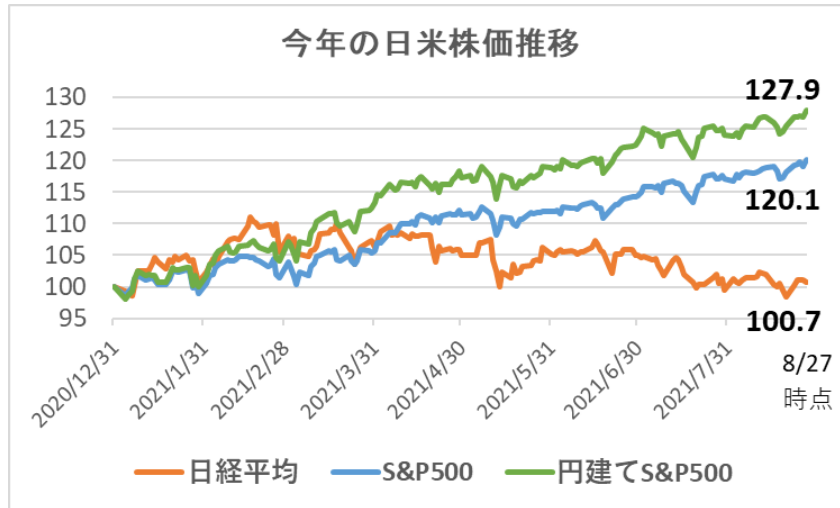


ATTENTION

危惧される「日銀保有の日本株ETF」の先行き



このグラフ、日本株が堅調かと思いきや、なんと今年は、ほぼ横ばいなのです。一方、大変好調なのが、米国株。そこに円安も加わり、日本から投資していれば大幅な利益になっています！ここでさらに3月末から見てみると、日経平均は5.3%マイナス。S&P500は+13.5%（円建てでは+12.9%）。4月からの日米株価の開きが、今年の開きのほとんどを占めているのです。ここで特徴的なのは、1月～3月、日銀は5,800億円ほど日本株ETFを買いましたが、4月以降は4月、6月の各701億円しか買っていません。日本株ETF買いをほぼ止めたようです。一方で、外人は4月から7月まで3070億円の日本株売り越し。これまで日銀は36兆円の日本株ETFを買い、時価評価では50兆円程度になっていると見られますが、いよいよこの保有の先行きが懸念されます。おそらく日銀は、もう日本株ETFは買えないでしょう。日銀の巨額な保有残高を見て、株式需給のマイナス面と株主権の空洞化も懸念され、外人はこれからも日本株を売ってくるでしょう。このところ、米国株の活況に比べ、日本株の低迷が目立ちます。株主権を行使せず、ただ50兆円も抱え込むだけの日銀が、マイナスの存在として、あらためてクローズアップされます。我々投資家は、この先行きを目を凝らしてみていく必要があります。

COLUMN

スピリチュアリティ(精神性)が大事

コロナも1年半以上になり、まだ感染者数が減らない中、「どうしたら、気持ちを盛り上げ、前向きに過ごせるか」というテーマは大変大事です。そこで、興味深いレポートが、米ウォール・ストリート・ジャーナル紙に出っていましたので、紹介しましょう。

スピリチュアリティ(精神性)を「神秘に対する敬虔さ」と見てみましょう。神、宇宙、見えない力など神聖なものとの結びつきと捉えます。愛されている、導かれている、一人ではないと感じるセンスとも言えます。すーっと息を吸い、瞑想や祈りをするように、脳を落ち着かせると、このような感覚や気持ちが生まれてくるということです。また、周りへの奉仕、自然、アート、音楽、詩作に親しむことで、このスピリチュアリティが育まれます。さらに感謝、畏敬、利他のような感情を持つように心がけると、このスピリチュアリティが高まるということです。

このスピリチュアリティが強いと、悩み、絶望、気持ちの落ち込み、自殺願望などから自らを守り、楽観主義、勇気、決意、寛容などを備えるようになるということです。また、創造力を増し、感謝の念やレジリエンシー(抵抗力)も備わり、「きっと良くなる」という気持ちも持てるようになるといいます。

このスピリチュアリティは生来人間に備わっているものとのこと。このスピリチュアリティを高めることは、いまのような時期、大変よい方法といってよいでしょう。

MARKET

	(8月末)	(7月末比)
日経平均	28,089.54円	+805.95円 (+2.95%)
NYダウ	35,360.73ドル	+425.26ドル (+1.22%)
米ドル	110.05円	+0.30円 (+0.27%)

私の書棚より

私は、成功したビジネス上の付き合いのほとんどが信頼と理解と誠実さにもとづいていると固く信じている。

『ロックフェラー回顧録』
デイヴィッド・ロックフェラー

国がよくなると甘い期待を持つべきではない

このところ日本の国情を見ると、「なんちゃって」といえる事象や事例が大変多いのが気になる。この「なんちゃって」はマスコミ紙面だけでなく、国の公文書にも記されるほどだ。特に問題として感じられるのは、一般人は、この「なんちゃって」をまともに信じていることが多いことである。そこで、まずは、この「なんちゃって」事例をいくつか挙げてみよう。

1. なんちゃって急性期

この「なんちゃって急性期」は、実は政府審議会の分科会の資料に記載された言葉だ。急性期向けの高い医療費を受け取り、急性期病床があることを名乗りながら、コロナ患者を積極的に受け入れない病院が大変多く、コロナ患者の自宅療養を余儀なくされているのが現状だ。

2. なんちゃってICU

新型コロナの重症患者の治療で最後の砦となる集中治療室(ICU)には空きがあるのに、集中治療専門医が、米国などに比べ大幅に少なく、重症患者の治療が十分にできない。また人工呼吸器、エクモはあっても、使える人材が少ないので、宝の持ち腐れになっている。

3. なんちゃってアスリートファースト

小池都知事や橋本組織委員会委員長などからは、何十回となく「アスリートファースト」と聞いたが、スケートボードでメダルを逃した米国トッププロは、34度の気温に「足が焼けるような感覚だ。」と嘆き、テニス世界ランク1位のジョコビッチが「試合の始まる時間を遅くして」と暑さ対策をのぼせた顔で懇願した。

4. なんちゃってESG

ESG(環境・社会・統治)の重視が世の中の潮流になる中、4000億円を集めたESG投信の上位10銘柄のうち8銘柄が、ESGを外したほぼ同名の投信と重なっていた。どの企業もESG重視を標榜するが、「他がやるから、うちもやらねば」と形だけ整え、やったふりして終わる危険性が大変高い。

5. なんちゃって顧客本位

金融庁が「顧客本位の業務運営」を掲げて5年目に入るが、金融機関が軒並み「顧客本位」宣言をする中、その宣言自体が、金融機関の宣伝になっている。仕組債などリスクの高い商品や手数料が高く、売しやすい投信を相変わらず販売しているのが実態である。真の「顧客本位」を実現しているかという点、まだほど遠い。

6. なんちゃってDX

国の行政業務の一元化を目指し、デジタル化を推進するデジタル庁が本日発足するが、この成功に期待すべきでない。2000年当時、森首相が「5年後に世界最先端のIT国家になる」と宣言したが、結局やったふりで終わった。官庁の縦割りは堅固で、決して役人は自分たちの縄張りを冒されるようなことはしない。せいぜい2合目、3合目程度で終わるのではないか。

これらすべて最終の受益者は我々であるが、期待してはしごを外されてきたのが、これまでの歴史だ。その帰趨がわかるのに数年かかるわけで、その時間を無駄にすることにもなってしまう。期待しないでだまされないようにすることが、かえって刺激を与え、後押しするかもしれない。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売しやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品をお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp